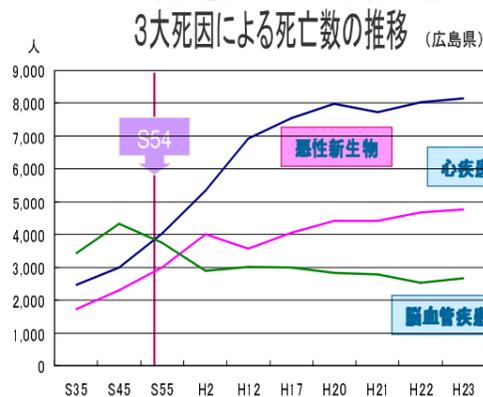


広島県がん対策推進計画（第2次・平成25～29年度） 骨子（案）

1 現状と課題

- 2人に1人ががんになる可能性があり、3人に1人ががんで死亡（年間約8,000人）
- がんは、昭和54年以降死亡原因の1位で、死亡者数は高齢化の影響で今後も増加
- がん検診の受診率は20～30%前後であり、たばこなど生活習慣も含め、早期発見や予防に向けた県民一人ひとりの行動の促進が必要
- がん医療の提供体制は、がん診療連携拠点病院を整備し、5大がん（乳・肺・肝・胃・大腸）の医療ネットワーク構築も完了する見込であるが、更なる機能の充実や拠点性の強化を進めるとともに他のがんへの対応について検討が必要
- がん患者・家族が安心して療養生活を続けるためには、身体的・精神的苦痛に対する緩和ケアのほか、生活面を含むがんに関する幅広い情報提供や相談支援が必要



がん検診受診率の現状

	胃がん	肺がん	大腸がん	子宮がん	乳がん
広島県	30.5%	21.9%	22.7%	33.6%	29.7%
全国	30.1%	23.0%	24.8%	32.0%	31.4%

【出典】厚生労働省「平成22年国民生活基礎調査」

※ 胃・肺・大腸がんは過去1年以内の受診率、子宮・乳がんは過去2年以内の受診率

2 次期計画の基本理念と目指す姿（将来像）、全体目標

平成22年10月に策定した「ひろしま未来チャレンジビジョン」に掲げる「がん対策日本一」を実現するための基本理念を定めるとともに、政策の基本的考え方を明確にし、目指す姿（将来像）の実現に向けた取組を推進します。

また、次期計画の5年間にわたる施策全体としての効果を計るために、全体の数値目標を設定します。

【基本理念】

- 「県内のどこに住んでいても、どんながんであっても、必要な手立てや情報を受け取ることができ、安心して暮らせる広島県」を目指し、総合対策を強化する。
- 県民みんなが、がんを自分にも起こり得ることとして関心をもち、それぞれの立場で予防や検診も含めた「がん対策」に取り組む社会をつくる。

【目指す姿（将来像）と全体目標】

- ① がんで死亡する県民が減少しています。
- ② がん患者や家族の苦痛が減り、療養生活の質が向上しています。
- ③ がんになっても、自分らしく豊かに生きることのできる地域社会が実現しています。【新】

【5年間の数値目標】75歳未満のがんによる年齢調整死亡率10%減少

3 重点的に取り組むべき課題

現行計画の達成状況や、国が変更した基本計画等を踏まえ、今後一層の充実・強化が必要な課題や、新たに明らかになった課題については、重点的な取組を進めていきます。

- ① たばこ対策の強化
- ② がん検診の受診率の向上
- ③ がん医療提供体制の充実
- ④ 「在宅」での療養生活を支える医療・介護連携の強化
- ⑤ 働く世代の就労支援

4 総合的ながん対策の推進

次の6つの分野を柱として、それぞれの目指す姿の実現に向け、本県の強みである総合的ながん対策をさらに発展させ、県民のあらゆる場面に対応する“隙間のない”対策の推進を目指します。

なお、これらの実施にあたっては、県民一人ひとりが主体的・積極的に行動し、県民総ぐるみで取り組むことを目指します。

分野	各分野の目指す姿（将来像）	取組項目	分野目標（主なもの）
1 がん予防	<ul style="list-style-type: none"> ●県民一人ひとりが、がんを自分にも起こり得ることとして関心を持ち、がんにならない生活習慣を心掛けています。 ●がんになるリスクを軽減するための有効な対策が県民に知られ、実践もされており、がんになる県民が減少しています。 ●肝炎ウイルス検査が陽性であった県民すべてが医療機関を受診しています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●たばこ対策の強化 ●生活習慣の改善 ●感染症対策の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●喫煙率の減少 <ul style="list-style-type: none"> ・成人男性22.0%以下 ・成人女性5.0%以下 ●肝炎ウイルス検査の実施体制整備 <ul style="list-style-type: none"> ・整備済職域（事業所）50%以上
2 がん検診	<ul style="list-style-type: none"> ●早期発見の重要性に対する県民一人ひとりの理解が根付いており、「がん検診」及びその検査結果に応じて必要となる「精密検査」を受診しています。 ●県民にとって受診しやすく、かつ死亡率減少につながる効果の高い「がん検診」が県内で実施されています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●科学的根拠に基づくがん検診の実施 ●がん検診の精度向上 ●がん検診の受診率向上 	<ul style="list-style-type: none"> ●市町検診の精度向上 <ul style="list-style-type: none"> ・精密検査受診率80%以上 ●がん検診の受診率向上 <ul style="list-style-type: none"> ・受診率50%以上（胃、肺、大腸は当面40%以上） ・市町検診の受診者数増 <p>（胃6割増、肺・大腸10割増、子宮3割増、乳4割増）</p>
3 がん医療	<ul style="list-style-type: none"> ●どこに住んでいても、どんながんになっても、安心して適切で安全ながん医療を受けることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●医療提供体制の充実強化 ●医療内容等の充実 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん医療の均てん化 ●がん医療ネットワークによる医療連携体制の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・地域連携パス適応患者数の増 ●高度な放射線治療や小児がん治療等の拠点性強化
4 緩和ケア	<ul style="list-style-type: none"> ●がんと診断された時から、希望する場所で、すべてのがん患者とその家族が、適切な緩和ケアを受けられる体制が整っています。 ●“がんと共に”自分らしく生きるための地域における療養支援体制ができています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設緩和ケアの充実 ●在宅緩和ケアの充実 ●人材育成の充実 ●緩和ケアに対する正しい理解の促進 ●県全体の総合的取組・拠点機能の強化 	<ul style="list-style-type: none"> ●施設緩和ケアの質の向上 <ul style="list-style-type: none"> ・緩和ケア病棟、緩和ケアチーム等の活動実績の評価・公表 ●在宅緩和ケア地域資源マップ作成・活用
5 情報提供及び相談支援	<ul style="list-style-type: none"> ●県民一人ひとりががんに関する必要な情報の提供を十分に受け、正しく理解し、それぞれの立場で予防や検診を含めた「がん対策」に取り組んでいます。 ●がん患者が納得した治療を受けながら、家族等とともに不安や悩みをいつでもどこでも相談でき、安心して療養生活を送っています。 ●医療機関や職場の十分な理解と協力を得て、がん患者・家族等が仕事や家庭生活と治療を両立させながら、安心して自分らしく豊かに暮らしています。 	<ul style="list-style-type: none"> ●がんに関する情報提供 ●がん患者・家族等への相談対応 ●がん教育【新】 ●がん患者・経験者等の就労支援【新】 	<ul style="list-style-type: none"> ●総合的ながん対策に取り組む民間企業等を評価する「がん対策トータルサポート企業（仮称）」制度の創設 ●ピア・サポートとして相談支援を行う人材の育成 ●全市町でのがん出前講座実施 ●相談支援センターにおけるハローワーク等との連携体制づくり
6 がん登録	<ul style="list-style-type: none"> ●精度の高いがん登録が維持されており、がん登録によって得られた情報ががん対策や評価に広く活用されています。 ●県民ががん登録に基づく正しいがん医療などの情報を得ることができます。 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん登録の精度向上 ●がん登録データの活用 ●県民への情報提供と理解促進 	<ul style="list-style-type: none"> ●がん登録の高い精度の維持 <ul style="list-style-type: none"> ・DCN10%以下 ●データ分析の実施と対策への活用 ●県民へ提供する医療等の情報の充実